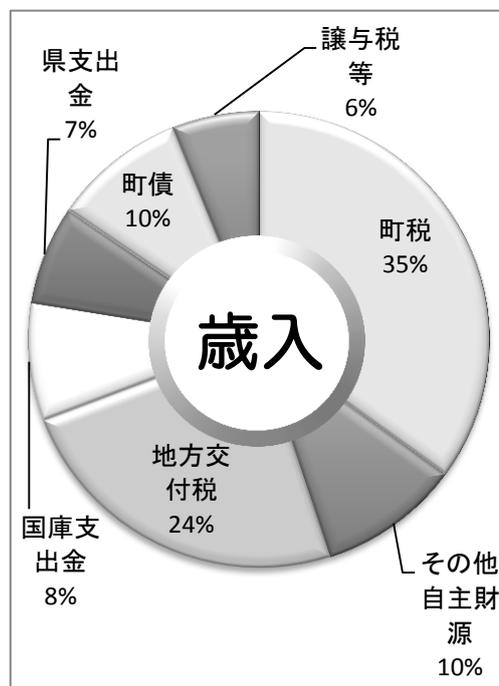


平成28年度決算（一般会計）

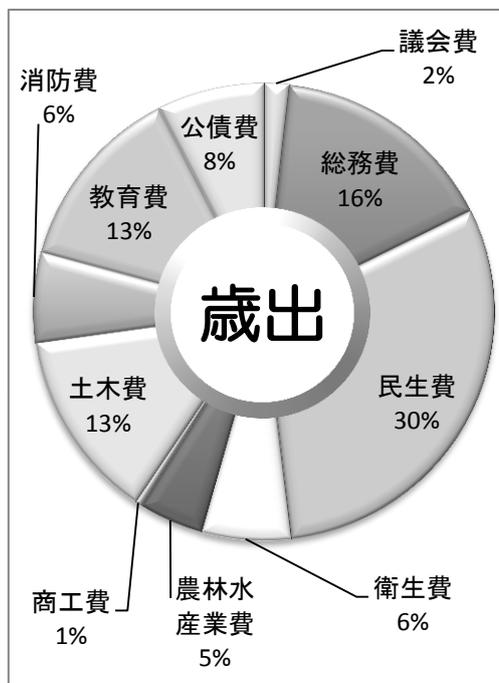
歳入総額 33億685万3千円

	歳入	H28決算額	H27決算額	前年比(%)
自主財源	町税	1,157,652	1,104,488	4.8
	分担金及び負担金	34,868	37,319	△6.6
	使用料及び手数料	38,657	37,793	2.3
	財産収入	3,048	3,426	△11.0
	寄附金	5,517	2,742	101.2
	繰入金	16,420	108,695	△84.9
	繰越金	187,101	178,184	5.0
	諸収入	42,894	40,686	5.4
	小計(自主財源合計)	1,486,157	1,513,333	△1.8
	依存財源	地方譲与税	38,360	39,292
利子割交付金		1,478	2,247	△34.2
配当割交付金		3,772	6,494	△41.9
株式等譲渡所得割交付金		1,912	6,424	△70.2
地方消費税交付金		141,100	154,406	△8.6
自動車取得税交付金		8,732	8,613	1.4
地方特例交付金		4,679	5,095	△8.2
地方交付税		803,585	819,342	△1.9
交通安全対策特別交付金		1,096	1,094	0.2
国庫支出金		274,587	278,170	△1.3
県支出金		232,095	210,438	10.3
町債		309,300	275,500	12.3
小計(依存財源合計)		1,820,696	1,807,115	0.8
歳入合計		3,306,853	3,320,448	△0.4



歳出総額 31億8749万2千円

歳出	H28決算額	H27決算額	前年比(%)
議会費	55,589	58,169	△4.4
総務費	507,859	565,858	△10.2
民生費	969,856	921,788	5.2
衛生費	199,760	196,884	1.5
農林水産業費	144,615	99,898	44.8
商工費	16,757	24,477	△31.5
土木費	425,853	309,697	37.5
消防費	204,756	138,366	48.0
教育費	422,795	522,764	△19.1
公債費	239,652	295,445	△18.9
災害復旧費	0	0	
歳出合計	3,187,492	3,133,346	1.7



歳入歳出総額としましては前年度とほぼ同額の決算となりました。歳入について、町税は近年減少傾向にありましたが、法人税割の増収等により3年ぶりの増加となりました。地方交付税のうち特別交付税については防災行政無線戸別受信機更新費用分が加味され、前年度に比べて多く交付されましたが、普通交付税の交付が少なかったため地方交付税全体としては減少しています。しかし、平成28年度は財政調整基金からの繰入れを行わず運営することができました。歳出では、防災行政無線戸別受信機器の一斉更新（3年計画）を開始したり、国道21号バイパス開通に伴い今後の活性化につながるよう町道の改良工事に力を入れました。

平成28年度決算を収入500万円の家族に例えると・・・



おじいちゃん（別居）
坂祝家を助けてくれる世話好きな人。（実はとてもお金持ち）



お兄ちゃん（別居）
しっかり者の大学生。坂祝家から仕送りをもらっているが、アルバイトもしている。



坂祝家
仕事熱心なお父さん。専業主婦のお母さんは不要品を売って収入を得ることも。妹は中学生。

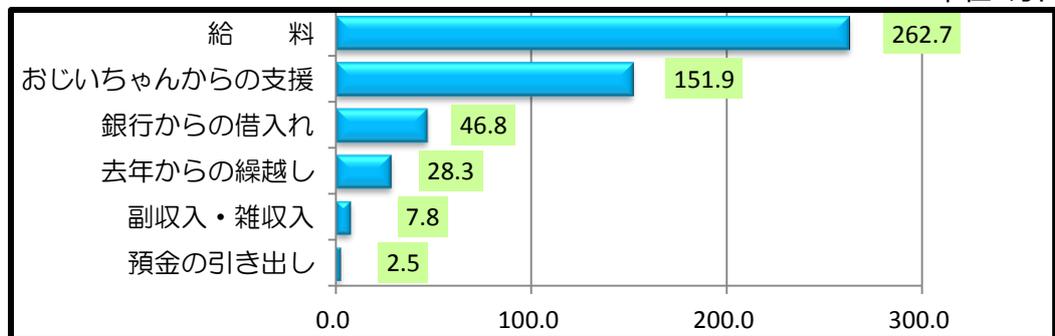
坂祝家の預金・借金状況

預金残高 296万円

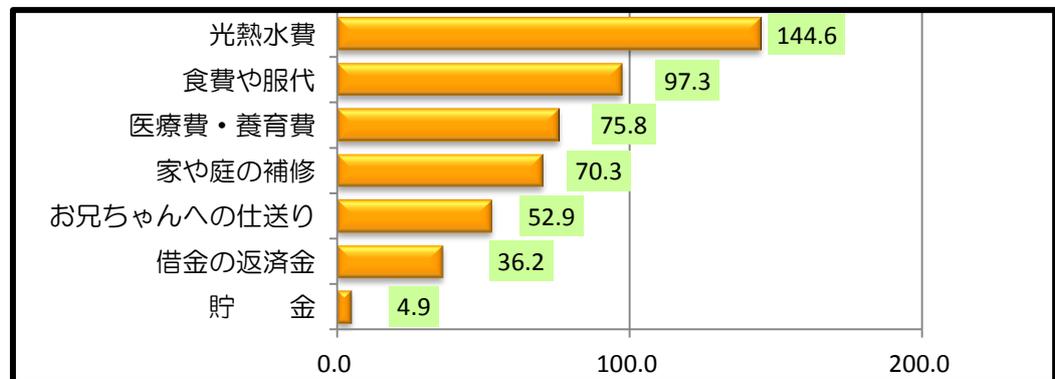
借金残高 401万円

単位：万円

収入



支出



解説

「坂祝家」・・・一般会計を同居の家族として例えています。
「お兄ちゃん」・・・特別会計のことです。
「おじいちゃん」・・・国のことです。

収入を見ますと、**給料**(町税・負担金・使用料・国県補助金等)が多くを占めていますが、**おじいちゃんからの支援**(国からの各譲与税・地方交付税)や、**銀行からの借入**がなければ家計のやりくりはできない状況です。

支出では、**光熱水費**(物にかかるお金・委託料・団体などへの補助金等)と**食費や服代**(人件費)が多くを占めており、この経費のほとんどは行政運営のため毎年必要となる経費(経常経費)です。**医療費・養育費**(医療給付費・障害者支援・保育給付費等)や**家や庭の補修**(道路工事費・建物の補修費等)も多くかかっており、医療費については毎年伸びていることが問題となっています。



平成28年度決算（特別会計等）

■特別会計■

単位:千円

会計名	区分	H28決算額	H27決算額	比較増減	前年比(%)
国民健康保険	歳入	1,074,369	1,044,874	29,495	2.8
	歳出	961,754	986,135	△24,381	△2.5
	差し引き	112,615	58,739	53,876	91.7
後期高齢者医療	歳入	68,733	69,413	△680	△1.0
	歳出	66,727	67,871	△1,144	△1.7
	差し引き	2,006	1,542	464	30.1
介護保険	歳入	566,507	551,858	14,649	2.7
	歳出	537,070	548,418	△11,348	△2.1
	差し引き	29,437	3,440	25,997	755.7
農業集落排水事業	歳入	211,461	189,006	22,455	11.9
	歳出	208,135	170,659	37,476	22.0
	差し引き	3,326	18,347	△15,021	△81.9
公共下水道事業	歳入	192,928	205,781	△12,853	△6.2
	歳出	187,900	200,067	△12,167	△6.1
	差し引き	5,028	5,714	△686	△12.0

■公営企業（上水道事業）■

	区分	H28決算額	H27決算額	比較増減	前年比(%)
収益的収支	収入	213,890	212,098	1,792	0.8
	支出	181,841	180,948	893	0.5
	差し引き	32,049	31,150	899	2.9
資本的収支	収入	7,464	7,040	424	6.0
	支出	48,193	63,208	△15,015	△23.8
	差し引き	△40,729	△56,168	15,439	△27.5

財政健全化判断比率・資金不足比率

指標	H28決算額	H27決算額	比較増減	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	—	—	20.0%
実質公債費比率	5.3	7.6	△2.3	25.0%
将来負担比率	—	—	—	350.0%
資金不足比率	—	—	—	20.0%

財政の健全化を示す4つの指標（「地方公共団体の健全化に関する法律」により公表）は、いずれも国の定める早期健全化基準等を大きく下回る結果となりました。実質公債費比率については前年度から2.3%減となり、平成28年度決算に基づく数値としては岐阜県下42市町村の中で最も大きな改善となりました。ゼロを目指す指標ではありませんが、計画的な借入れを行って数値が膨らまないよう調整していきます。

■各指標の意味■

実質赤字比率	財政規模に対する赤字額の比率により、町の財政が黒字か赤字かを判断するものです。
連結実質赤字比率	特別会計を含めた赤字額の比率により、町の財政が黒字か赤字かを判断するものです。
実質公債費比率	財政規模に対する元利償還金等の比率により、借金の返済に係る財政負担の程度を示すものです。
将来負担比率	財政規模に対する将来負担額（実質的な負債総額から負債に充てることができる基金等を控除した額）の比率により、町の財政の将来的な財政負担の程度を示すものです。
資金不足比率	公営企業（上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業）の事業規模に対する資金の不足額の比率により、公営企業の会計が黒字か赤字かを判断するものです。